

平成25年度 大館市立花岡中学校 学校評価書(前期) ・ 年度)

A 学校教育目標

郷土に誇りをもち、主体的・創造的に生きようとする生徒の育成

めざす生徒像 (校訓)

- (1) 感謝と思いやりの心を持ち、進んで人の役に立とうとする生徒 (誠実)
- (2) 正しい判断力を持ち、健康で明るい生活のできる生徒 (自律)
- (3) 夢と志に向かい、自ら学び、自ら考え、自らを高める努力ができる生徒 (努力)

めざす学校像

- (1) 生徒一人一人が、存在感もてる学校
- (2) 地域に信頼され、地域と共に歩む学校
- (3) 整然と美しく、潤いのある学校

めざす教師像

- (1) 生徒の心に寄り添い、保護者の思いに心を馳せることができる教師
- (2) 教育に対する情熱をもち、自らの資質向上に努め、不断に研修を積む教師
- (3) 教育公務員としての自覚をもち、生徒・家庭や地域から信頼される教師

B 本年度の重点目標

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| (1) 確かな学力の向上 | わかる・できる授業の推進、自学の力の育成 |
| (2) 望ましい集団の育成 | 自己有用感をもてる学級づくり、達成感をもてる特別活動 |
| (3) ふるさとキャリア教育の充実 | 総合的な学習の時間の充実、地域企業の職場見学・体験 |
| (4) 地域に開かれ、信頼される学校づくり | 小学校との連携、ボランティアの推進、施設・公民館との交流 |
| (5) 統合に向けた取り組み | あいさつ・清掃の徹底、コミュニケーション能力の育成 |

C 学校経営の特徴

ふるさとキャリア教育の充実 → ふるさとと母校への誇りを醸成

- (1) 学校・地域のアルバムづくり(閉校に向けて)
 - ・花中66年の沿革
 - ・校舎の移り変わり
 - ・写真が語る66年
 - ・昔の町並みと花岡温泉
 - ・花岡地区の祭
 - ・花岡鉱山の操業100年史
 - ・鳥潟会館
 - ・花岡鉄道
- (2) 学年に応じたキャリア教育活動の推進
 - 1年生: 地域の企業訪問と職場体験、 2年生: 地域の職場体験(二日間)
 - 3年生: 渋谷でのふるさとPR
- (3) ようこそ先輩課外授業の継続 地元で起業した花岡中学校出身者による講演会

D 評価

学校運営の状況	自己評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
				4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
				3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
				2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
				1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

生徒の状況	自己評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
				4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
				3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
				2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
				1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 組織・運営				
学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	おおむね良好	良好	渋谷でのPR活動、きりたんぽまつりでの活動を通して、地域に対する思い・誇りが強くなっている。
	年度			
学自 校己 の評 改価 善の 策の 概要 と	【前期(→年度)】本年度の重点目標を明確にし、職員の共通理解を図り、校内評価委員会等をととしてPDCAサイクルを行うことができた。必要とされる授業の確保を行い、「郷土に誇りをもつ生徒」を目指して本校独自の教育活動が展開されてきた。年度末に向け、表現力の育成を図りながら更に「主体的・創造的」な力も高めていきたい。また、事務処理等については今後もさらに適切な処理を行い、職員へも周知徹底を図っていく。			
	【年度(→次年度)】			

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 明確な運営・責任体制	(1)学校評価の効果的運用	・重点課題と生徒像の明確化 ・アンケート項目の検討 ・校内評価委員会	3	
2 教育課程の編成と実施	(2)教育目標実現のための教育活動の充実	・体験活動や地域素材を生かした教育活動 ・ふるさとキャリア教育	3	
	(3)学習指導要領に沿った教育課程の編成	・適切な時数配分 ・授業時数の確保		
3 効果的な事務運営及び事務処理	(4)各種会計管理の徹底	・学校納金の適正な管理 ・各種会計の執行状況の周知	4	
	(5)校外個人情報管理の徹底	・管理マニュアルの作成 ・情報漏洩防止の徹底		

(2)に関するデータ 教育活動の充実 ふるさとキャリア教育の充実(ふるさとと母校への誇りの醸成)

修学旅行先(渋谷ハチ公前)でのふるさとPR活動



いただいたアンケートの記述から

○生徒さんの緊張した面持ちが印象に残っています。地元の話をする時は、本当に地元を愛しているのだと感じました。(横浜市)

○ハチ公前で声をかけられましたが、好印象でした。自信をもって積極的な活動を期待しています。(船橋市)

○ハチ公が大館市出身を教えてくれてありがとう。都心で知らない人に声をかけるのは大変だったでしょう。大館、十分に認知しました。(府中市)

○小生は由利郡本荘市で生まれ、18歳まで住んでおりました。爽やかな若者とお話しできて楽しかったです。(松戸市)

○精一杯な様子が好感が持てます。時間を取らせないように早口で説明していたのだと思います。秋田への旅行を思い出させていただきました。本当はゆっくり話したかったです。(多治見中学校 教諭)

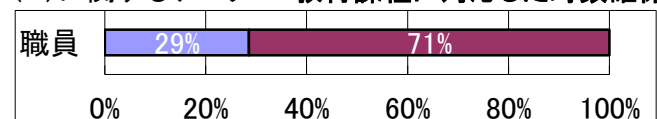
○大館観光パンフレットを職場の皆さんにも見てもらいますね。しおりを使っています。(和歌山県)

○自分たちの市や学校を一生懸命アピールしようとする姿勢に感激しました。(和歌山県)

アンケート結果(「はい」の割合)

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1 挨拶は明るい笑顔でしたか。 | 70% |
| 2 話し方は明快でしたか。 | 90% |
| 3 説明の内容は分かりやすいものでしたか。 | 80% |
| 4 大館市に興味をもちましたか。 | 85% |

(3)に関するデータ 教育課程に対応した時数確保

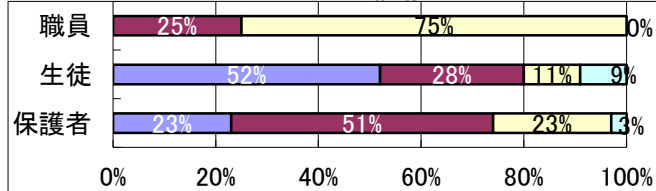


II 自主的・自律的な生活

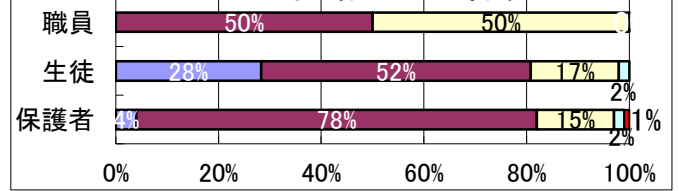
生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
元気な挨拶をし、規律ある生活を送りながら、目標達成に向けて主体的に取り組もうとしている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	先生方と生徒・保護者との間に認識のギャップがあるので、それを埋めるようにしていくと良いと思う。
学自 校己 の評 改価 善の 策 概 要 と	【前期(→年度)】生徒の「挨拶」の課題は、「相手に届く声で挨拶すること」と「自分から挨拶すること」の2点である。生徒と職員とが目指す姿を共有するため、まずは教師が率先垂範していく。また、毎朝の挨拶運動を改善しながら、粘り強く取り組んでいく必要がある。集団生活に関しては、生徒会後期委員会の再編を機に、日常の係活動の内容を生徒に再確認させ、教師が見届けることで責任感を育み、学校生活を規律あるものにしていきたい。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 基本的な生活習慣	(6)時と場に応じた挨拶	・あいさつ運動 ・小学校との連携 ・他校との連携	3	
	(7)時と場に応じた言葉遣いとマナー	・月目標 ・集会活動による啓蒙		
5 集団生活・集団活動	(8)規律ある校内生活	・月目標 ・生徒会活動	3	
	(9)自分の役割に責任をもつ態度の育成	・当番活動 ・係活動 ・委員会活動 ・部活動		
	(10)問題行動の早期発見と迅速な対応	・定期的な相談活動 ・必要に応じた相談活動		

(6)に関するデータ 元気な挨拶



(7)に関するデータ 時と場に応じた言葉遣い



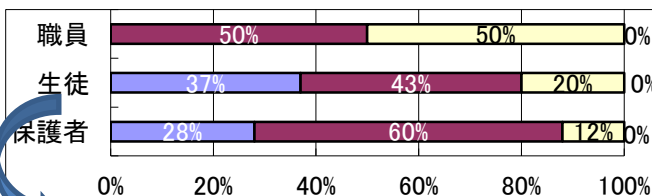
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

保護者アンケート自由記述より

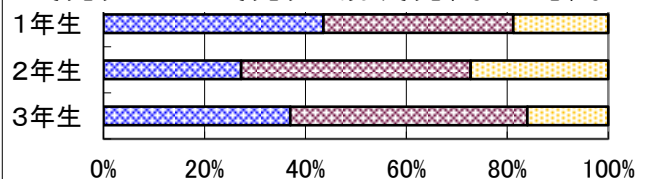
- ・挨拶などを見ても、一人一人の心掛けが良くできていると感心します。
- ・花岡中学校は、全体的に挨拶は良い方だと思う。
- ・朝のあいさつ運動は良いことですが、元気なあいさつができずに目をそらす子どもがいて残念でした。

「元気な挨拶」「言葉遣い」ともに、生徒・保護者と教師の受け止めに大きな隔りがある。目指す「元気な挨拶」の具体的なイメージを、教師と生徒が共有して取り組まなければ、この隔りは埋められない。挨拶に関する指導を「いつでも・どの職員も・同じように」指導したり、朝の挨拶運動の活性化を図ったりしながら指導していきたい。

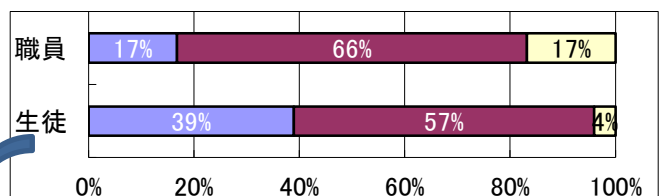
(8)に関するデータ 学校のルールを守った生活



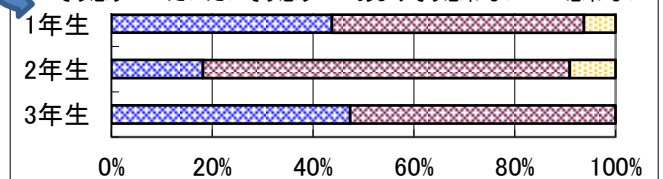
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない



(9)に関するデータ 責任ある態度の育成



■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまり思わない ■ 1 思わない



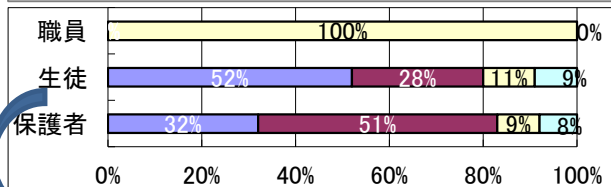
(8)(9)共に、生徒のデータを学年別に見ると、肯定的な割合は、3年生が高く、次いで1年生、2年生となっている。ただし「そう思う」の割合では、2年生が極めて低い。自己肯定感を育むためにも、時間を守ること、身だしなみを整えること、自分の係を責任もってやり通すこと等を、最後まで教師が見届けながら行っていく必要がある。

Ⅲ 思いやりの心・たくましい心			
生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら、安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね良好	自分の良さを発揮したり、間違いを温かく見守る雰囲気作りに、益々取り組んでほしい。
	年度		
学自 校己 の評 改価 善の 策 の概 要と	【前期(→年度)】生徒はお互いの良さを認め合う学級や学校生活に安心感をもって生活している。しかし教師は、もっと主体的に活動できる生徒に育てたいと考えている。そのため、短学活の学級プログラム等をとおして、自ら企画し活動できる場づくりをし、積極性を育みたい。行事や部活動を終えての達成感良好であった。事前指導を徹底しながら、今後も生徒が満足感を得られるよう、支援していきたい。		
	【年度(→次年度)】		

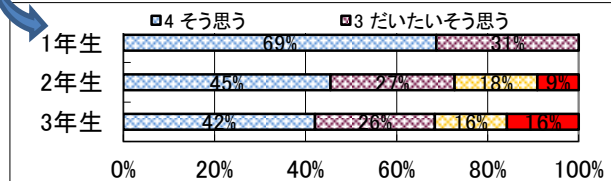
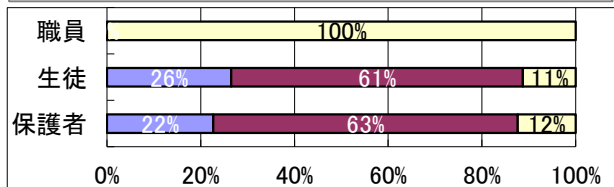
評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 開かれた心と自立心	(11)よりよい人間関係を構築する特別活動	・学級活動 ・委員会活動 ・生徒総会 ・短学活の充実 ・主体的に活動できる場づくり ・学級での意識づけ ・部活動	3	
	(12)生徒が自信をもって、積極的に取り組む活動			
7 一人一人の良さの発揮	(13)互いの良さを認め合う学級	・友達の良さを認め合う場の設定 ・学年通信での紹介 ・新入生歓迎会 ・運動会 ・学校祭 ・合唱祭 ・3年生を送る会	4	
	(14)達成感を味わわせ、行動力を育てる学校行事			

(11)に関するデータ よりよい人間関係の構築

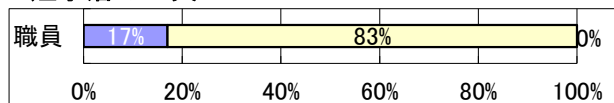
T: 生徒は自己存在感・自己有用感をもって、学校生活を送っている。
 S: 学校や学級で楽しく過ごしていますか。
 P: お子さんは充実した学校生活を送り、学校を楽しんでいると感じていますか。



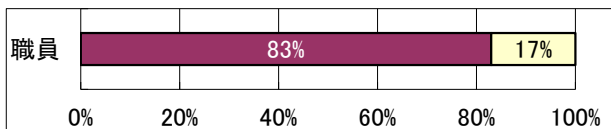
T: 生徒は他を思いやる心が育っている。
 S: 友達や他の人に思いやりの気持ちをもって接することができましたか。
 P: お子さんは、友達や他の人に思いやりの気持ちをもって接していますか。



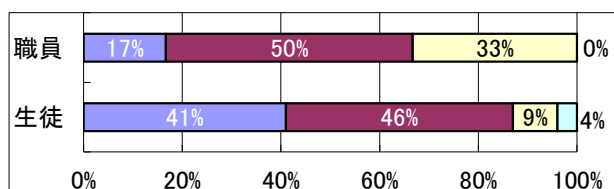
短学活の工夫



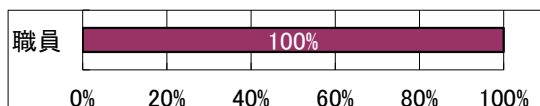
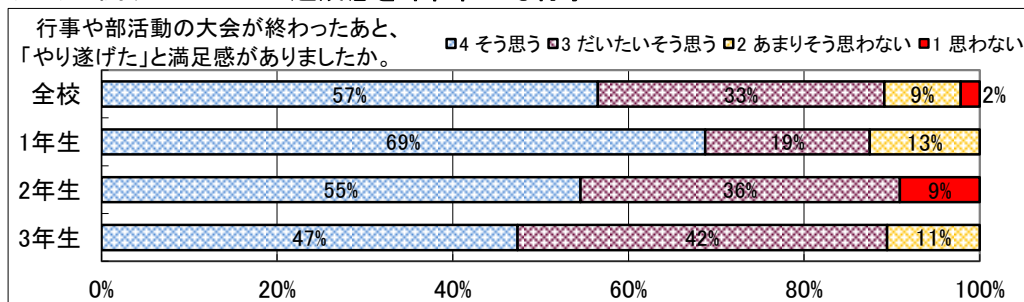
(12)に関するデータ 主体的な場の設定



(13)に関するデータ 互いの良さを認め合う学級



(14)に関するデータ 達成感を味わわせる行事



どの学年も肯定的な割合が90%前後を示しており、良好である。今後は全ての生徒が満足感を味わえるよう努力したい。



運動会: 女子ピラミッド

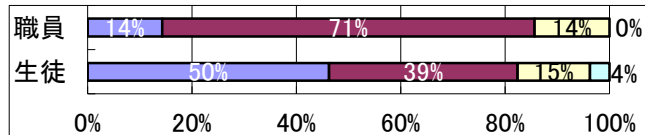
IV 基礎学力

生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身につけながら、学力を向上させようとしている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	新しい試みにチャレンジしているので、今後の成果に期待したい。
学自 校己 の評 改価 善の 策の 概要 と	<p>【前期(→年度)】 家庭学習に関しては、提出状況で評価した生徒と学習内容で評価した教師との差が出た。発達段階に応じた個別指導を丁寧に行い、生徒自身が学習内容を意識しながら毎日取り組めるように支援していきたい。また、表現力の向上に関しては、教師による表現の場の意図的設定も今後も継続し、表現することに慣れさせ、自信をもたせる工夫をしていきたい。</p> <p>【年度(→次年度)】</p>		

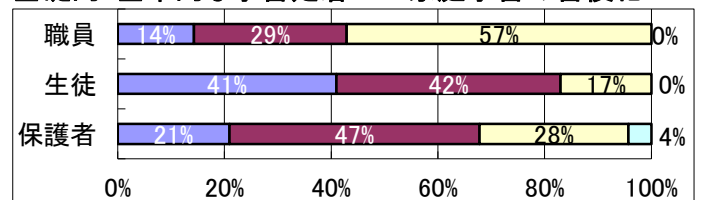
評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 学習への取り組み	(15)基本的な学習習慣の定着	・学習ルール ・話型	3	
	(16)基礎的・基本的な内容の確実な定着	・教材教具の有効な活用 ・ドリル学習の有効な活用 ・家庭学習の習慣化		
	(17)個に応じた指導の工夫	・効果的な個に応じた指導 ・家庭学習内容への助言		
	(18)読書活動の充実	・朝読書の充実 ・コラム学習 ・読書運動		
9 諸検査の状況	(19)NRT、学習状況調査結果の向上	・結果の分析と補充・回復	3	
10 授業改善の推進	(20)わかる・できる授業づくり	・導入、まとめ、振り返り(評価)の工夫 ・考える場、学びあう場の設定	3	
	(21)小・中連携による授業改善の推進	・話型を活用した言語活動 ・自己有用感を高める活動		

(16)に関するデータ ドリル学習

T:ドリルを通して、生徒の学習意欲向上に努めた。
S:ドリル学習に意欲的にとりくむことができましたか。

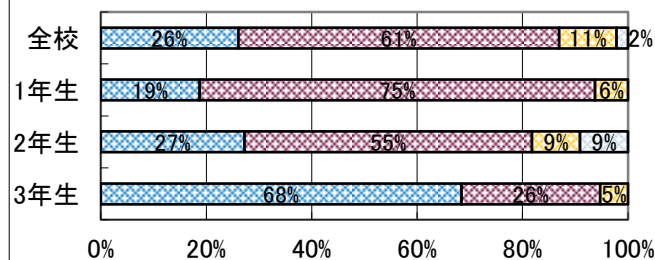


基礎的・基本的な学習定着 家庭学習の習慣化

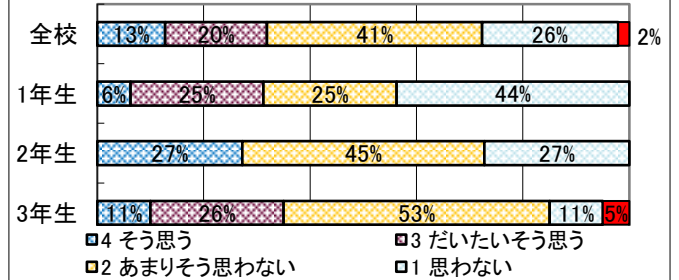


(18)に関するデータ 読書活動の充実

「朝のさわやか読書・さわやかコラム」に意欲的に取り組むことができましたか。

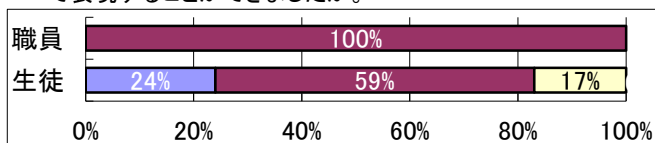


お父さんは家で本や新聞などを読む習慣がありますか。

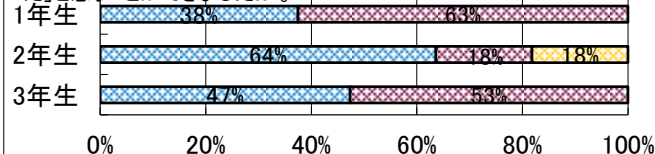


(20)に関するデータ わかる・できる授業づくり

T:生徒が自分の意見や考え、思いを表現したり、学び合う場を設定したりした。
S:授業で自分の意見や考え、思いを言葉や演技・演奏、作品等で表現することができましたか。

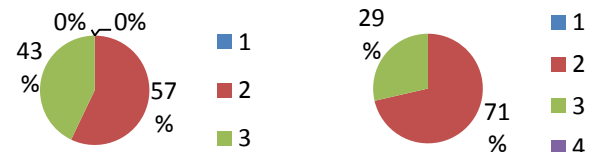


S:授業の最後に、めあてや課題について「できた・わかった」と思うことができましたか。

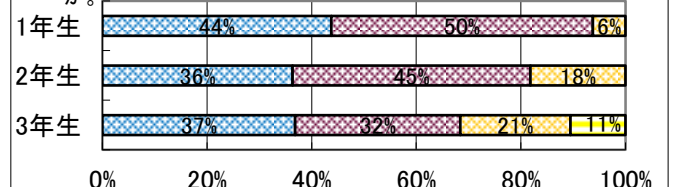


(21)に関するデータ 小・中連携

T:授業で自己有用感を育んだ T:言語活動の推進に努めた



S:授業で、友達友達に自分の意見が認められてうれしかったり、友達の意見に感心したりすることがありましたか。

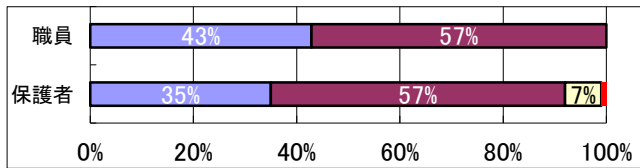


V 安心・安全

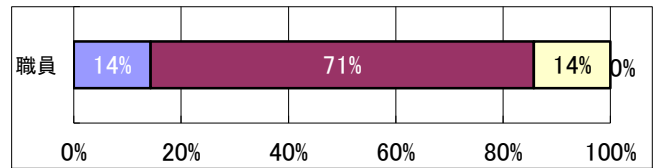
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
生徒への安全確保に取り組んでいて、諸問題への組織的対応が図られている。	前期	おおむね良好	アセスの結果を受けて、今後も適切な対応を継続してほしい。
	年度		
学校自己の評価改善の概要と	【前期(→年度)】災害時の下校グループや下校場所の確認を定期的実施した。8/9の大雨被害を受け、危険箇所確認マップを新たに作成し、安全な登下校を確保していく。今年度取り組んだアセスは、生徒の状況を知る上で有効な手がかりとなった。今後は10月下旬と2月に実施し、生徒の変容を確認しながら支援を続けていく。前期は1年生の不登校を未然に防ぐことができた。今後も情報の共有と迅速な対応で、防いでいきたい。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 安全教育と安全管理	(22)安全な登下校と継続的な防災訓練	・登下校のグループ化と下校場所の確認 ・避難訓練	4	
12 組織的な生徒指導	(23)不登校等の未然防止と適切な対応	・アセスの活用 ・鴻志ノート ・情報の共有	3	

(22)に関するデータ 安全教育(避難訓練等の実施)

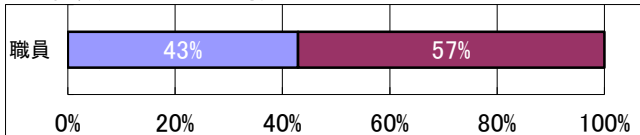


携帯電話利用のマナー等、トラブル対処の啓発

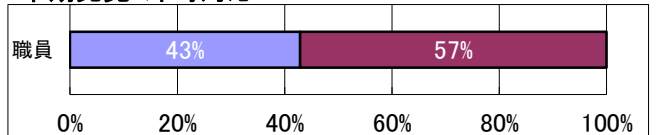


(23)に関するデータ

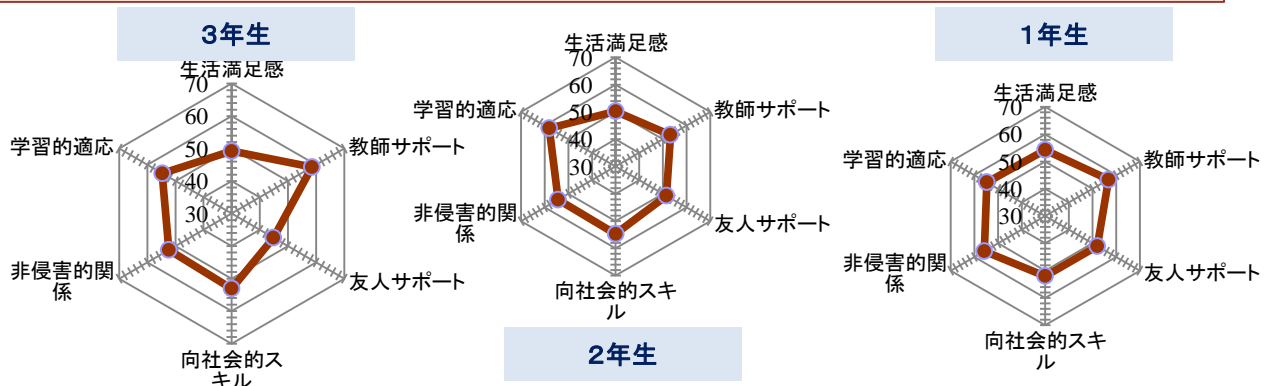
職員間の共通理解



早期発見・即時対応



アセス(学校環境適応尺度)の結果



生活満足感 生活全体に対して満足や楽しさを感じている程度を示す。
 教師サポート 担任(教師)との関係が良好であるとじている程度を示す。
 友人サポート 友人関係が良好だと感じている程度を示す。
 向社会的スキル 友への援助や友との関係をつくるスキルをもっていると感じている程度を示す。
 非侵害的関係 無視やいじわるなど拒否的・否定的な友達関係が無いと感じている程度を示す。
 学習的適応 学習の方法もわかり、意欲も高いなど、学習が良好だと感じている程度を示す。

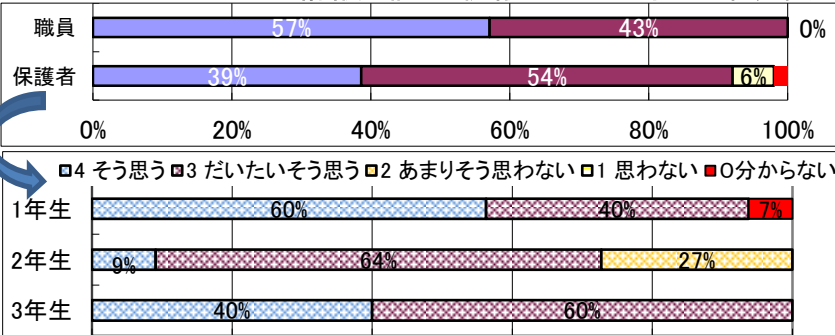
※どの学年も「教師サポート」と「学習的適応」は良い傾向にあるが、「友人サポート」と「向社会的スキル」が低い傾向にある。高校進学後や統合中学校での学校生活に順応できるよう、人と関わる力を全教育活動を通じ育てていかなければならない。

VI 保護者・地域との連携

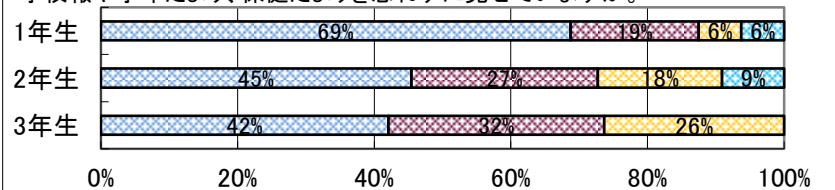
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取り組みを保護者や地域へ分かりやすく伝え、地域の教育力を有効に活用している。	前期	良好	引き続き現状を維持してほしい。
	年度		
学自 校己 の評 改価 善の 策の 概要 と	【前期(→年度)】 情報発信は様々な工夫が効果をあげ、職員・保護者とも高い評価を得た。また、修学旅行のふるさとPR活動のように、総合的な学習の時間等を通して地域素材の活用も行うことができた。今後は地域との積極的な相互交流やPTAとの連携を目指した活動の場を設定していく。また、その様子を適時学校報やホームページ等で、地域全体に情報の発信を行っていく。		
	【年度(→次年度)】		

評価指標	実施課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
13 情報の受発信	(24)学校と地域・家庭をつなぐ情報発信	・学校報 ・学年だより ・部活動だより ・ホームページ	4	
	(25)学校開放の推進	・みんなの登校日 ・各種行事の案内		
14 地域の教育力の活用	(26)地域人材と地域素材の活用	・地域の自然、伝統、文化、産業、人材等の活用	4	
	(27)PTA相互の連携と協力体制	・挨拶運動 ・運動会や学校祭での連携 ・親子奉仕作業 ・PTA会報		

(24)に関するデータ 情報発信(学校報・おたより等の内容充実)



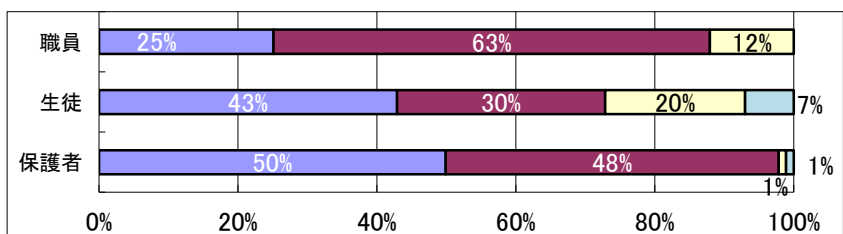
学校報や学年だより、保健だよりを忘れずに見せていますか。



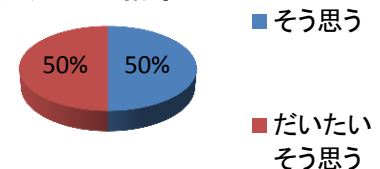
一学期、学校報や学年通信の内容を工夫し、できるだけ生徒の作文や感想、写真等を使いながら、学校の様子を伝える努力をしてきた。それに対し、90%以上の保護者が肯定的に受け止めてくれていることは嬉しい限りである。ただ、学年別に結果を見ていくと、2年保護者に30%近くの否定的な受け止めが見られる。これは、生徒が保護者におたより等を見せていない割合とも重なっている。学校と家庭の連携を図るためにも、相互の信頼関係を築くためにも、おたよりを見せるよう学校と保護者で声かけをしていかなければならない。

ホームページの更新は、遅ればせながら夏休み中に行った。保護者だけではなく、多くの卒業生も楽しみにしているものであり、細やかに情報発信していきたい。

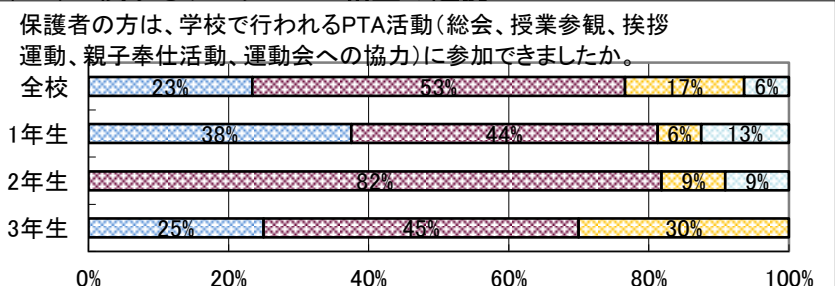
(26)に関するデータ 地域人材・地域素材を活用した体験活動



職員：体験活動と人との関わりを大切にした指導



(27)に関するデータ PTA相互の連携



職員：地域の自然・伝統・人材等を活用し、学校と地域の交流が見られたか

